



特集

おおむら夏越まつり

大村の夏到来!!

祭りにかける熱い想いは
今も昔も変わらない

大村の夏の風物詩となつた「おおむら夏越まつり」。今年で33回目を迎えます。1日からの3日間、大村は活気と熱気に包まれ、たくさんの方の元氣と笑顔であふれます。

今こそ、地域に定着した祭りとして盛り上がりを見せていますが、そこには祭りを成功させるため、携わってきた人たちのさまざまな「想い」が込められてきました。その中でも今も昔も変わらない想いが一つあります。「市民の皆さんに楽しんでほしい。」

この想いを受け継ぎながら今年もおおむらの熱い夏がやってきます。





市民まつり委員長
(当時)

塚原 健二さん

今昔対談



↑当時の夏越まつりの様子→

人と人との心のつながり、ふれあいを大切に…



◆夏越まつりをはじめたきっかけ
塚原さん 昭和55年、大村を盛り上げるため市民に楽しんでもらえる祭りを開催しようと、青年

会議所を中心に研究しました。そこで、その昔、市内の各神社で7月末に「夏越まつり」が行われていたと知りました。それから毎月勉強会を行い、祭りの骨格を作り上げました。

◆夏越まつりの今と昔
塚原さん 第1回目は7月31日に行いました。現在の開催日になったのは2回目からです。昔は白島に火をたいて祭りを知らせていました。

◆夏越まつりの今と昔
塚原さん 第1回目は7月31日に行いました。現在の開催日になったのは2回目からです。昔は白島に火をたいて祭りを知らせていました。



り8月1日〜3日という認識でいてほしいとの願いも込めて日付けで統一しています。

◆夏越まつりをはじめたきっかけ
塚原さん 昭和55年、大村を盛り上げるため市民に楽しんでもらえる祭りを開催しようと、青年

◆夏越まつりに対する思い
塚原さん 「大村音頭」は市民にもおなじみになりました。市民の祭りとして定着させるためさまざまな方法で盛り上げて来られたのですね。今年が市制施行70周年を市民みんなが祝うため、さまざまな企画を考えています。ぜひ皆さんに参加していただきたいと思っています。

◆夏越まつりに対する思い
塚原さん 祭りを通じて、人と人との心のつながり、ふれあいを大切にしたい。皆さんの意見を取り入れ、たくさんの子どもたちに楽しんでもらえるような企画を目指してください。

◆夏越まつりに対する思い
塚原さん その思いを受け止め運営していきます。誰かがやっている祭りではなく、「自分のまつり」と感じながら誰もが参画できる祭りに目指します。この祭りが先代の思いを引き継ぎ、永代に続く全国的な話題になる祭りになっていきますね。



誰もが参画できる「自分のまつり」になるよう…

第33回夏越まつり
実行委員長

芦塚 義幸さん

夏越今昔対談

故きを温ね 新しきを知る

初代委員長と現委員長が「夏越」について語り合う



おおむら夢楽団

今年も生演奏でお届けします!

→平成9年、アップテンポの踊歌「おおむらまつり」の誕生とともに結成された「おおむら夢楽団」。2時間にも及ぶ生演奏で踊り手を導きます。



東日本大震災で慰問演奏を行い話題となった陸上自衛隊第16普通科連隊音楽部を中心に、三味線、ボーカル、太鼓連で構成される「おおむら夢楽団」。結成から携わる同音楽部のメンバーに話を聞くと「さまざまなところで演奏しますが、夏越まつりが一番盛り上がる。」といいます。また、「おおむらまつり」を歌う松岡さんは札幌市出身ですが、大村に転勤して以来夢楽団で活躍しています。「大村は私の第二の故郷。心のふるさとです。今年も生歌で盛り上げます。」と笑顔で話されました。



夢楽団メインボーカル
松岡美紀子さん

くじら太鼓

迫力ある演奏のために猛練習!

←夏越まつりで迫力ある演奏を披露するため、黒木小体育館で猛練習中。総踊りで奏でられる太鼓の響きは、踊り手のみならず見物客までも心躍ります。



「夏越まつりでの演奏を見て入部する子が多い」というくじら太鼓。全国的な大会でも毎年優秀な成績を収めていますが、設立は夏越まつりが始まりだそうです。そのくじら太鼓の部員を含め、今年は総勢約100人が夏越まつりを盛り上げます。毎週3日間、黒木小学校で練習を重ね、毎年祭り当日は迫力ある演奏を披露されます。指導する田中先生は、「子どもたちは休みもなく、3か月間一生懸命練習して夏越まつりの2時間に全力を注ぎます。ぜひ、その成果をいろいろな人たちに提供いただき、祭りを楽しんでほしい。」と話してくださいました。



くじら太鼓創始者
田中俊己さん

おおむらの夏の夜を

夏越 interview

百花繚乱踊り連

艶やかな舞で観客を魅了!

→夏越総踊りコンテストでは数々の賞を受賞してきた百花繚乱踊り連。ひとさき目立つ衣装と美しく息の合った踊りで総踊りを盛り上げています。



市内外でよさこいダンスチームとして活動するウェルネスダンスクラブ・百花繚乱の皆さんは、今年も華やかな衣装と艶やかな踊りで観客を魅了します。総合プロデューサーの山本さんが考案するオリジナルダンスで、心一つに一条乱れぬ踊りは、観客から歓声が上がることよくあるそうです。山本さんは、「観客目線で踊ることができ、夏越総踊りは、踊り子としての原点を思い出させてくれます。今年のテーマは「元気」。ダンスをこよなく愛する総勢70人の真剣な舞をぜひお楽しみください。」と意気込みを語られました。



百花繚乱総合プロデューサー
山本すえみさん

伊丹市姉妹都市親善訪問団

「WASSHOI いたみ」も披露します!

←姉妹都市の兵庫県伊丹市からの訪問団「ワッショイいたみ」の披露のほか、総踊りでは、市役所踊り連と体となって、祭りを盛り上げます。



相互の祭りに参加して交流を深めている姉妹都市の兵庫県伊丹市。夏越まつりツアーで訪問団が結成され、毎年参加していただいています。夏越総踊りの前には、伊丹市の総踊り「WASSHOI いたみ」をステージで披露され、祭りに花を添えます。協会会長の阪上さんに祭りの印象を尋ねると「一昨年前、夏越まつりに参加しましたが、夏の暑さを吹き飛ばす大村のパワーが溢れていました。3日の夜の2時間に及ぶ総踊りは圧巻です。目一杯踊らせていただき、汗をかかせてもらいました。今年も踊ります!」と話してくださいました。



伊丹市姉妹都市協会会長
阪上繁昭さん

熱く盛り上げる人たち



市制施行70周年記念事業

第62回

8/1
[水]

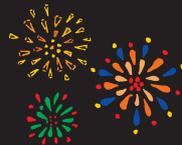
おおむら夏越花火大会

おおむらの夏の夜空を彩る3,000発の花火

とき 午後9時5分ごろ～
(長崎空港最終便到着後)
※荒天の場合4日に延期

ところ 大村ポートレース場付近

内容 3,000発 2尺玉打ち上げあり



■観光コンベンション協会 ☎②3605

市制施行70周年記念事業

第33回

おおむら夏越まつり

本まつり～百花繚乱!REBORN夏越～

両日とも午後4時～10時

8/2
[木]

夏越大祭

夏越奉納演芸

OMURA室内合奏団演奏

もちまき

やぐら点灯式

奉納太鼓

8/3
[金]

奉納子ども太鼓

夏越奉納演芸

郷土芸能披露

長崎がんばらんば国体イベント

WASSHOIいたみ

夏越総踊り

やぐら消灯式



●大村駅

やぐらの数は
1,189(いいやぐら)個!

大やぐら



メインステージ

子ども太鼓の演奏は
迫力満点!

駅前公園

●バスターミナル

●交番
●観光案内所

●子ども科学館



郷土芸能

大村の伝統芸能を
勇壮華麗に披露します



夏越総踊り

総勢約5,000人の
総踊りは圧巻!



夏越子ども遊園地

楽しいアトラク
ションがいっぱい!

夏越夢通り

お旅所

●駅前ビル(工事中)

●立体駐車場

●子どもセンター



奉納演芸

今年もたくさんの
奉納演芸を披露します

●シャトルバス乗降場

国道34号

←至佐世保

至諫早→



千提灯

彩り鮮やかに
大通りを照らします

無料送迎バスを運行(16:30-22:30)
大村公園観光案内所・森園公園
⇕
夏越会場

■おおむら夏越まつり協賛会 ☎②2580

